

大谷光瑞の構想と居住空間

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書14

みたに まずみ
三谷真澄 [編]

A5判・並製・二六八頁・本体三、五〇〇円＋税

2020年3月刊行



遷化70年を迎え、大谷探検隊を含む様々な活動を通して、光瑞のめざしたものは何であったのかを、とくに彼が手がけた居住空間を巡りながら探究する。

また、国際的規模で遂行された光瑞の事業活動の歴史的背景や意義を再考し、国際交流活動の特徴を明らかにするとともに、宗教者（仏教者・念仏者）でありつつ、探検、研究、教育、実業、農業、著述といった様々な活動をおこなった原動力を探る。

はじめに

【基調講演】大谷光瑞師のめざしたこと

大谷光瑞の建築観——生涯にわたる建築家との関わりから考察する——

二楽荘と神戸大港都構想論

管見三夜荘

中国における大谷光瑞師

「旅順大谷邸」と周水子「浴日荘」について

大谷光瑞と西本願寺上海別院・無憂園

——上海の日本人居留民社会の生活空間を中心として——

台湾・逍遙園と修復事業

英国における大谷光瑞——場所と人々——

トルコにおける大谷光瑞師の構想と農業

「エルダール・キュチュクヤルチュン」(永島 育訳)

【資料紹介】「別府・観光都市計画」と晩年の大谷光瑞師

コメントーターの総括と質疑応答

「三谷真澄・白須浄眞・片山章雄・松居竜五」

執筆者紹介

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書14 刊行の辞

【桶 淳澄】

【編者略歴】

■ 1961年、広島県生まれ。龍谷大学国際学部教授、アジア仏教文化研究センター「近代日本仏教と国際社会」ユニットリーダー、世界仏教文化研究センター「西域総合研究班」班長、古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター長。専門は仏教文化学、古写本学。著書に『大谷光瑞のトルコでの動向——「仏教」と「農業」のあいだ』（ヤマンラール水野美奈子との共編、龍谷大学国際社会文化研究所研究成果報告書、龍谷大学国際社会文化研究所、2016年）、『仏教の来た道——シルクロード探検の旅』（共著、龍谷大学龍谷ミュージアム・読売新聞社、2012年）、『文化交流のエリアスタディーズ——日本につながる文化の道』（共著、松原広志ほか編、ミネルヴァ書房、2011年）、『大谷光瑞とアジア——知られざるアジア主義者の軌跡』（共著、柴田幹夫編、勉誠出版、2010年）などがある。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

歴史・建築

注文書	
(書店名)	
ご担当	様 冊
三谷真澄 編	法藏館
龍谷大学アジア仏教文化研究叢書14	三、五〇〇円＋税
大谷光瑞の構想と居住空間	
ISBN978-4-8318-6379-9 C1023	
お名前	ご住所
お電話	